

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

### .理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

### .安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

### .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

### .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

### .サービスの成果に関する項目

**ホップ 職員みんなで自己評価!**  
**ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!**  
**ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!**

- サービス向上への3ステップ -

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。

(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。

関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 株式会社 村上工務店 グループホームやまと

(ユニット名)

記入者(管理者)

氏名

山下 淳子

評価完了日

平成 19 年 8 月 1 日

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成19年9月20日

【評価実施概要】

事業所番号	3873600369		
法人名	株式会社 村上工務店		
事業所名	グループホームやまと		
所在地	愛媛県大洲市長浜町下須戒甲1772番地 (電話) 0893-52-0319		
管理者	山下 淳子		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市三番町六丁目5 - 1 9 扶桑ビル2階		
訪問調査日	平成19年8月18日	評価確定日	平成19年9月20日

【情報提供票より】 (平成19年8月1日事業所記入)

(1)組織概要			
開設年月日	平成16年9月1日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9人	常勤	8人, 非常勤 1人, 常勤換算 8.0人
(2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	27,500 円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金	有( 円) (無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	有( 円) (無)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	250 円	昼食 300 円
	夕食	400 円	おやつ 50 円
	または1日当たり 1,000 円		
(3)利用者の概要 (平成19年8月1日現在)			
利用者人数	6名	男性 3名	女性 3名
要介護1	2名	要介護2	1名
要介護3	3名	要介護4	0名
要介護5	0名	要支援2	0名
年齢	平均 80.2 歳	最低 70 歳	最高 90 歳
(4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定	(あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護	
指定	(あり)・なし	指定認知症対応型通所介護	
届出	あり・(なし)	短期利用共同生活介護	
加算	あり・(なし)	医療連携体制加算	

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>日々の利用者の言葉から思いを探り、ご家族と話し合い、すべての職員の気づきや意見を取り入れて介護計画を作成している。                  散歩は、一人ひとりの状態に合わせて距離やコースを選んでおられる。又、買い物の日を設定し、好きなお店に買い物に出かけておられる。盆踊りや花火大会等、外出の機会を作り、外出に気が進まない方にも声掛けをされている。</p>
--

【質向上への取組状況】

<p><b>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</b></p> <p>・前回の評価結果を受けて、改善計画書を作成し、具体的な改善に取り組まれている。</p>
<p><b>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</b></p> <p>・管理者とすべての職員で自己評価に取り組まれた。自己評価作成時に職員は、利用者への接し方の大切さに気付かれ、日頃の言葉かけ、態度について振り返りをされた。</p>
<p><b>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</b></p> <p>・運営推進会議を通じて地域の方との接点ができ、回覧板の利用や地域の方に防災訓練・防災体制等の協力をいただけることとなった。</p>
<p><b>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</b></p> <p>・共用空間に催し物の写真を掲示し、ご家族の来訪時に見ていただけるようにされている。又、職員の異動についても報告をされている。</p>
<p><b>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</b></p> <p>・花火大会や盆踊り等、地域の活動にはできるだけ参加し、地域の方と交流されている。利用者が小学校の学芸会や運動会へ参加されたり、事業所のクリスマス会には地域の方に来ていただく等されている。</p>

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			『明るく、楽しく、穏やかに』という理念と、地域に密着し、地域から愛される施設になれるよう、意識統一を図っている。		
			(外部評価)		
			事業所では、理念の実現に向けて、地域の方々との交流する機会作りに取り組んでおられた。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			理念に基づき、全ての入居者が生き生きとした生活が営めるよう、日々取り組んでいる。		もっと趣味を引き出し、より生きがいを感じていけるような生活が支援できるように考えていきたい。
			(外部評価)		
			職員は、利用者の生き生きした笑顔をどうやって引きだすかと言うことを常に念頭に置き、日々のケアに取り組んでおられる。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			入居者の家族の方には、初回訪問、契約時には説明差し上げているが、地域の方々への浸透には至っていない。		地域の方々との交流が図れるよう、区長等にも既に相談はしているので、今後具体的な方針が見え次第、実施していきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 地域との支えあい</b>					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 近隣の美容室へ行くときや、散歩、お買い物の時などに挨拶をしたり、地域行事に参加することで親密になれるよう努めている		ホームの行事を積極的にアピールし、近隣の方も気軽にお越しいただけるような環境を整えたい
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地域活動や行事には可能な限り参加するよう努めている。  (外部評価) 花火大会や盆踊り等、地域の活動にはできるだけ参加し、地域の方と交流されている。利用者が小学校の学芸会や運動会へ参加されたり、事業所のクリスマス会には地域の方に来ていただく等されている。		回覧板を用いた地域との連絡、交流手段も、区長から許可いただいたので、有効に活用する方法を考えたい。  今後、利用者が保育園の園児とも交流が出来るように取り組んでいかれる予定となっていた。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 地域の方の状況不穏に対し、対応したことはある。しかしながら、地域への認知度がまだまだ十分とは言えず、現在のところは殆ど話し合うような機会はない。		地域の各役員を本軸として情報を集め、地域への貢献を行っていきたい。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 前年度の評価を元に、職員、経営者等を交え協議し、より改善できるよう意識統一を実施した。  (外部評価) 管理者とすべての職員で自己評価に取り組まれた。自己評価作成時に職員は、利用者への接し方の大切さに気付かれ、日頃の言葉かけ、態度について振り返りをされた。前回の評価結果を受けて、改善計画書を作成し、具体的な改善に取り組まれている。		現状の改善率は100%とは言えず、今後も引き続き改善できるよう推進していく。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
			運営推進会議を通じ、地域の有識者からの助言を多く頂くことができた。同会議の内容をミーティングで職員に周知するなどして、今後の改善策を図っている。		現在の運営推進会議の出席者のうち、地域から出席いただける方の中に女性がいないため、女性の見地から助言をいただける方を出席いただけるよう考えている。
			(外部評価)		
			運営推進会議を通じて地域の方との接点ができ、回覧板の利用や地域の方に防災訓練・防災体制等の協力をいただけることとなった。		
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
			相談事があるときには行政と連絡を取り合っているが、それ以外の場合にあっては特に交流することはない。		行政担当者より親密な連携が図れるように模索していきたい。
			(外部評価)		
			介護計画の作成方法等についても相談されている。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			既に権利擁護を利用されて、入居に至った方がいるため、その担当者等と連絡を密にして把握、認識はしている。		全職員が制度に関する認識を高めるため、研修、講習会等へ出席し、知識を向上させたい。
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見逃されることがない よう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			研修等の資料を用い、重要性を徹底して教育している。現在のところ、虐待が行われた事実はない。		教育はもちろんのこと、介護者の基本姿勢を問われる事柄であるので、職員に再度自己啓発の機会を与える場を設ける予定。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約書、重説以外にもわかりやすくまとめた説明書をその都度用意している。説明後、契約後の問い合わせに関しても、原則として2日以内に回答するようにしてある。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 特に大きな意見が出るのが今までに無く、その都度いただく要望については家族、管理者と相談の上、可能なことについては実施していくようにしている。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	(自己評価) 月1回、請求書発送時に各入居者ご家族様に対しては郵便を送付している。また、ご家族等の訪問があった際には管理者よりその状況等について詳しく説明差し上げている。		
			(外部評価) 共用空間に催し物の写真を掲示し、ご家族の来訪時に見ていただけるようにされている。又、職員の異動についても報告をされている。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 特に大きな意見が出るのが今までに無く、その都度いただく要望については、管理者、経営者と相談の上、可能なことについては優先順位順に実施していくようにしている。		年に数回程度アンケートを取りまとめ、口頭では言いにくい事柄の引き出しを図っていきたい。
			(外部評価) ご家族の来訪時、ご意見・ご希望をお聞きしている。		さらに、事業所では、ご家族から意見や希望を出していただけるよう、働きかけを工夫していきたいと考えておられた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 全職員の意見の引き出しを図っているが、思うように進んでいないのが現状である。		職員の不満なども含め、話のしやすい環境を整備していく。
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 緊急時には即時応援可能な職員を2名分余力を持たせている。行事等で増員が必要な際にあっても柔軟に対応できる環境にしてある。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 昨年秋に職員の大幅な退職があり、一時は不安定だったものの落ち着きは取り戻している。現在の入居者の大半は職員異動があってから入居されているため、今後は心理ケアについて徹底していく。		特定の職員だけが係わり合いを持つのではなく、全職員で対応していくことで、心理的ダメージを最小限に抑えていきたい。
			(外部評価) 職員の退職の際には、新しい職員に引継ぎを行っている。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 職員個々の能力に応じて研修等を計画している		職員の能力格差が大きく、円滑な研修の推進には至っていないため、全体のレベル向上を促進していく。
			(外部評価) 長年、介護に携わって来られた職員が、新人の職員に利用者とのかわり方等についてアドバイスをされている。外部研修にも参加されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	<p>同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	(自己評価)		
			<p>同業他社との交流は何社か持っており、疑問点などアドバイスや職員研修などに協力を頂いている。しかしながら相互訪問の開催までには至っていない。</p>		<p>相互交流が可能になるよう、方法を模索していきたい。</p>
			(外部評価)		
			<p>他の事業所に新人職員が研修に行かれている。</p>		<p>さらに、地域の他事業者との交流等、ネットワーク作りから貴事業所の質の向上の取り組みにつなげていかれることが期待される。</p>
21		<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	(自己評価)		
			<p>介護現場以外にも、経営母体の本社事務局に相談窓口を設けている。携帯電話、メールでの受付も可能としている。</p>		<p>現在のところ、利用はほとんどない。職員に積極的に利用するよう推進するものでもないため、どのように行えばいいか方法を模索している。</p>
22		<p>向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	(自己評価)		
			<p>職員が向上するための積極性にムラがあり、研修等の希望に対しては推進しているものの、その他については職員個人によって大きく異なっているのが現状。</p>		<p>ただ勤務する、ただ研修すると言うのではなく、自己啓発の機会を与えることで、自己の改善を図るための目安にするような教育を現在実施している。</p>
<p><b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b></p> <p><b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b></p>					
23		<p>初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	(自己評価)		
			<p>入居前、直後にヒアリングを実施し、改善方法についてはケアマネージャーと協議のうえ判断している。特定職員のみを専属とせず、全職員で問題提起できるような方法を採用している。</p>		<p>入居前に確認した状況と、入居後では状況が大きく変化していることが多いため、入居初期に早期発見できるような教育を推進していく。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 家族との連携を密にするための方法については模索中である。必要に応じては家族と連絡を取り合い、不安、不満等には早急に対応している。		入居者家族会等を設立し、家族間交流を含めて全体的に信頼いただけるような状況作りを模索していきたい。
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) ご家族の話と今現在の入居者の状況と食い違う点も存在する可能性があることから、家族の話と踏まえた上で、入居して数日間は職員が細かく所作をチェックするようにしている。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 全ての職員で対応し、顔見知りでない初期であっても情報の誘引が可能である職員を初期対応職員とし、情報を引き出し、共有していくようにしている。		状況に応じてはご家族様の支援をいただきながら実施している。現在のところ成果は出ている様子だが、個人によって性格もまちまちなため、確実な対応方法を模索していきたい。
			(外部評価) 入居前に、ご家族が事業所を見学に来られたり、職員が利用者の面談を行ってられる。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) お話好きな入居者様とは容易に行えるが、そうでない方についての感情共有が十分とはいえない状況にある。		過去の話だけではなく、今の話、これからの話を用い、感情共有ができる状態を作ること、より深いつながりを築いていけると考えている。
			(外部評価) 利用者が職員を気遣ってくれたり、労ってくれることもある。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 状況を説明しご家族からの情報を引き出すよう努めている。否定的な発言には肯定せず、介護者としての立場を損なうことが無いよう努めている。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 入居者のご希望があれば直接家族様と電話でお話いただいている。ホームが座敷牢になることが無いようにオープンな対応を心がけている。		家族には定期的な面会を促し、入居者の記憶から忘失がないように注意している。
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) 可能な限りお出かけする機会を設け、旧知の友人などとお会いする機会を設けるようにしている。しかしながら、入居者によっては自宅周辺になると頑としてホームに帰ろうとしなくなる等ということから、全員に対応できているとは言い難い状態にある。		より安全に実行できる方法を模索中である。
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) お話が好きな人もおり、お話をしている姿も見られるが、各々が自分の世界を持っており、深い交流までには至っていない。夫婦での入居が2組あり、夫婦間の交流はある。		全体で一致団結して何かを成すような行事を計画し、仲間意識を高めることでより深い交流が可能になっていくのではないかと考えている。
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 入院等で退所になった方については定期的なお見舞い等を継続しておこなっていた。自宅に帰られてからはほとんど交流はできていない。		退所した方でも近隣の方であったりする場合は、近隣での行事へお誘いをしている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p><b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b></p>					
<p><b>1.一人ひとりの把握</b></p>					
33	14	<p>思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>(自己評価) 既に個人の世界を形成されているため、その方々の意向には極力柔軟に対応するよう努めている。現在は本人優位の考えであるため、活動性がどうしても低くなっている。</p> <p>(外部評価) 職員は、夜間等ゆっくり利用者とお話をされており、日々の利用者の言葉を記録し、ご本人の思いや意向の把握に努めておられる。</p>		<p>本人の考えを尊重しながらも、よりオープンな活動ができる方法を模索したい。</p>
34		<p>これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>(自己評価) 今までの暮らし方については情報は得ているが、それが反映されるまでには至っていない。</p>		
35		<p>暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>(自己評価) 現在の現状把握は見たままであることが多いので、より詳細に観察できる能力を養う必要がある。</p>		
<p><b>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b></p>					
36	15	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価) ケアマネージャーがケアプランを立案し、ご家族へ確認いただいている。</p> <p>(外部評価) 日々の利用者の言葉から思いを探り、ご家族と話し合い、すべての職員の気づきや意見を取り入れて介護計画を作成されている。</p>		<p>より広い意見を反映し、優先度に応じたケアプランの作成、改変を行っていく</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			変化を記録に残し、介護記録等を元に見直していく用意はある。		特に短期目標については、より細やかな観察と配慮を持って対応していく。
			(外部評価)		
			3か月ごとに見直しを行うようになっている。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			介護記録は細かく記入しているが、職員によって多少のムラがある。ケアプラン作成の最大の資料としている。		記録方法を統一するよう教育は継続している。
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			希望に応じて適宜対応している。		
			(外部評価)		
			理美容院の利用やかかりつけ医の受診等、ご家族の事情等にも合わせ柔軟に対応されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 救命救急の講座などは受講しているものの、他の受入れについては薄い状況にある。		積極的に取り入れていけるようにしていきたい。
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 行われていない		連絡会等可能な機会を有効に活用したい。
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 必要に応じ、適宜行っている。		
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 従来の主治医は遠隔地でない限りそのままとし、別に往診Drとしてホームの担当医を充てている。契約時にご家族に同意を行っている。  (外部評価) 毎月の往診は提携医療機関が行っているが、ほとんどの利用者が入居以前からのかかりつけ医での受診を続けておられる。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 特に行われていない		方法を検討中

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 入所時にはそれまで対応していた看護師等から情報を引き出しているが、入所後については特に協働するには至っていない		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 病状によるが、入院後も引き続いて受入れが可能な体制を維持してある。入院中も引き続きご家族と連絡を取り合い、状況把握を行っている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 管理者では把握している物もあるが、全体的な情報の共有がなされていない。  (外部評価) ご家族と相談しながら取り組んでおられる。		ターミナルケア実践に向け、より専門的な意識付けを行いたい  さらに、利用者の重度化や看取りについて事業所の方針等をご家族に伝え、ご本人ご家族の要望についても話し合うような機会作りが期待される。さらに事業所でも職員で話し合う機会を作ってみてはどうだろうか。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) チームとしての支援体制はなく、異常時に対応した職員に依存する形となっている。緊急時の対応方法はマニュアルとして用意されている。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 入退居が発生する場合には、その日を起算として当面の間のサポートを可能な限り実施している。(介護従事者の増員など)ただ、他事業所へ移動になった方については全く出来ていないのが現状である。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1.その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
50	20	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価)		
			個人情報の保護については教育を行っているが、徹底不十分な状況にある。今後引き続き改善していく。		
			(外部評価)		
			トイレの誘導の声かけは、他の利用者にわからないように、耳元でされていた。		
51		利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価)		
			希望の引き出しを行っているが表出が少なく、実行に移せているとはいいい難い状態にある。		より深い信頼関係を構築し、気軽に希望が表出される環境を整備していく。
52	21	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)		
			極力本人の希望を優先しているが、共同生活であるということもご理解いただくようお願いをしている。		
			(外部評価)		
			食事のペースや食後の過ごし方等、利用者個々の希望を優先されている。活動量の少な目の方には、レクレーションへの参加を促しておられた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 本人より希望のある方は優先して、それ以外の方はご家族と協議のもと実施。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 嗜好は伺ってはいるものの偏りが大きく偏食も見られるため、現在のところは施設用メニューで運用している。その他対応できる場合には適宜対応するようにしている。		
			(外部評価) 利用者と職員が会話を楽しみながら、食事をされていた。蒸しパンを一緒に作ったり、誕生日には、利用者のお好きなメニューでお祝いをされている。		
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) アルコールの希望等はあるが、対応に至っていない。タバコの希望もあったが家族からの反対により中止している。		アルコール依存の経験がある方についてはノンアルコール飲料で対応するなど、アルコール類に関してはその方法を考えていきたい。
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排泄記録簿により排泄状況を確認し、事前にトイレに誘導するよう努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			おおむね希望する時間で入浴できるよう支援はしているが、入浴する人数やその方の状況により多少の前後はさせてもらっている。		入浴が嫌いな方の円滑な入浴方法を模索中
			(外部評価)		
			利用者の希望に沿った入浴の支援を行っている。入浴が大好きでない方には、職員で話し合い、声かけを工夫されている。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			本人の希望を第一に休憩時間を設定している		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			特に注意して推進している事柄はない。状況が安定している方については、散歩、ドライブ等を実施しているが、全ての方に対応できるという取り組みが不十分である。		趣味の活動の啓発を促進し、楽しみの発見の支援に向けた努力を行っていききたい。
			(外部評価)		
			ちぎり絵の作成や陶芸を楽しむ方もおられる。調査訪問時、高校野球をテレビ観戦しておられる様子がうかがえた。		今後、事業所では、畑作り等にも取組み、利用者の楽しみごとを増やしていけるよう計画されていた。
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			現金管理のできる方については所持いただいております、実際買い物や清算はご本人に行っていただいております。職員側で細かな所持金額の管理までは行っておらず、概略の把握に留まっている。		買い物の中から楽しみを見出さずしていただく取り組みを行ってはいったが、お金の使い方が荒めで不安が残る点もある。ご家族には説明し理解を頂いているが、具体的な解決までには至っていない。

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)  その時の状態に応じ、外出支援を行っているが、そもそも外出が嫌いな方の対応については思うように進んでいないのが現状である。  (外部評価)  散歩は、一人ひとりの状態に合わせて距離やコースを選んでおられる。又、買い物の日を設定し、好きなお店に買い物に出かけておられる。盆踊りや花火大会等、外出の機会を作り、外出に気が進まない方にも声かけをされている。		
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)  ご要望に応じ、対応可能かどうか、健康状態、現場の状態などから考慮し、可能である場合は極力お答えするようにしている。		近隣外からお越しの方については特に積極的に近隣行事に参与していくことで、地元を知って頂く機会を作るよう努めている。
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)  適宜対応している。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)  ご家族を通じ、いつでも訪問いただくようお願いはしている。実際、数年交流の無かった方も入居を機会においくださった実績がある。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束に関するガイドラインを用い、説明済みである。身体拘束については一切禁止してある。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 夜勤者1名のみになる時間帯に限り、玄関を施錠している他は常に開錠してある。居室には鍵を用意しておらず、1階は吐き違い窓から庭にも自由に出入りできるようにしている。安全面から庭から直接外へは出られないようにしてある。 (外部評価) 1階からの外出は、センサーで把握できるようにされていた。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 1時間～2時間に一度は巡回を徹底している。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 剃刀、マッチなど危険を伴う物については説明して事務所管理としている		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) ヒアリハット研修を用い、職員の危険に対する意識向上を図っている。		職員の危険を予見する能力を養い、未然に防止できるよう徹底していく。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価)  消防署が主催する救急救命実習を年に1回受講している。		
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価)  地域区長と連動し、各種災害時の協力をいただくようお願いしている。また地域の災害避難訓練にも参加している。その他の状況に対しては災害対応マニュアルに順次運用している。  (外部評価)  いろいろな災害を想定して対策マニュアルをまとめておられる。地域の災害訓練への参加や事業所での避難訓練を行っておられる。夜間を含め緊急時には、地域の区長へもご連絡する体制となっている。		
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価)  契約時及び一定期間経過後、現状を説明し、起こりうる状況についての説明は実施している。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価)  毎日のバイタルチェックの結果及び所作の確認により、不穏が感じられる場合は速やかに医師に相談している。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 服薬する薬については全て職員で管理し、服薬時間ごとに用意しお渡しし、服薬確認をしている。		
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 排泄確認を行い、便秘の状況にある場合は医師に相談し、漢方薬などを処方いただいている。極力運動と水分には注意し、自然排便を促す努力はしている。		
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後うがい、歯磨きをしてもらうよう支援している。		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食の食事量、水分摂取量には十分注意を図り、不十分と感じる時や多汗時期には水分を摂取いただくよう促進している。 (外部評価) 栄養バランスを考えた食材の宅配を利用されている。ストローをつけたペットボトルを居室に置いておられた。		食事のすすまなかった方が代替の食事を摂るような場合もあり、さらに、全体を通して栄養を考えるような取り組みが期待される。
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 感染予防マニュアルをホーム内に置き、職員がいつでも閲覧できる状態にしてある。また、研修を行い感染予防の必要性を説いてある。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>調理するための食材は、外部業者委託により納入している。それ以外の食材も常に在庫と状況を把握し、余剰在庫が出ないように管理している。</p>		<p>布巾、台拭きは毎日交換し、次亜塩素酸ナトリウムで消毒している。</p>
<p><b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b></p> <p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>玄関に狭いながらスロープは用意してある。道路にすぐ面しているため、段差の解消が困難である。</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>季節ごとに掲示物を交換し、季節感を出す努力はしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>共用空間には、季節の飾りや外出時の写真等が飾られている。</p>		<p>建物の構造上、1階が暗くなりがちなので、適度な明るさを維持できるような方法を模索したい</p>
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>各場所にソファや椅子を用意し、複数グループでも対応できる場所を設けている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			入居時にご家族様に協力いただき、極力馴染みの物をお持ちいただくようお願いしている。		
			(外部評価)		
			ベッドやタンス等、利用者個々の使い慣れた家具が持ち込まれており、お孫さんの写真を飾られたり、神棚を祀っておられる方もおられた。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			各居室に換気扇・エアコンは備え付けられているが、日中は換気を行い、屋内ににおいが残らないよう努めている。夏場は27度、冬場は24度で屋内を設定している。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			バリアフリーに基づく基準により建物は整備されているため対応している。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			一人ひとりの過ごし方を大切にし、残有する能力を最大に発揮できるような環境の整備、介護の工夫を行っている。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			建物に隣接する形で畑を整備しているが、今のところ入居者と共同で作業をするに至っていない。		有する環境を最大限に活かせるよう考えていく

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ①ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	利用者ひとりひとりの希望に添って、可能な限り職員は行動している。
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ②数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	食堂でゆっくり話す機会はあるが、それぞれの状況に応じては対応が困難になるので、毎日できているとはいえない状況である。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	各々が自由気ままに過ごされている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	会話や動作の中からも笑顔が見られ、満足いただいていると思う。しかしながら、意思疎通が困難な方については万全とはいえない状況である。困難とはいえ、毎日がその状況でないので、判断が難しい。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	散歩や買い物、通院の希望には極力添うようにしており、現在のところほぼ実行できている。一部、遠出が困難な方がおり、全ての要望に対して実行できているという事実はない。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	係りつけ医、担当医との定期的な連絡を通じ、医療体制の強化を図っている。施設内の危険箇所の整備も行い、安全であると考えている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	おおむね要望にこたえる努力はしているが、集団生活の中でどうしても実行不可能な事項であったり、金銭的に問題がある場合などは実行できていない。また、ご家族様の要望により一部抑制いただいている部分もある。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己評価) ②家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	訪問いただいたときの職員の違いにより、伝達内容が十分に感じられない場合がある。渉外担当者の携帯電話をお教えしているため、直接お話をいただける場合もあるので、状況の把握については的確に行っていると考えている。主張されないご家族様の対応方法について、今後考えていきたい。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ③たまに 4 ほとんどない	ホームへお見えになる方は、特定の方に限られており、それ以外の方の面会は現在のところ皆無である。親戚、友人に関しては、事前にご家族様に確認を取った上で面会の可否を伺ってはいるが、今まで来られたというケースは非常に少ない。ご家族様経由でより面会者が増やせれば良いかと思っている。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	(自己評価) 1 大いに増えている ② 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	従来とは違い、地域へ開くことをテーマとして1年間行動した結果、地域住民の方々にも施設を知って頂き、区長、民生委員をはじめ、他事業所を含む大勢のかたがたとパイプはつながりつつあるように感じる。しかしながら、現在のところ、そのつながりは細いため、今後より太いパイプを構築できるよう考えていく。
98 職員は、生き活きと働けている	(自己評価) 1 ほぼ全ての職員が ② 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員各自に得手、不得手があり、勤務の組み合わせによってはいささが円満であるとは言いき辛い状況ではあるが、職員が常に向上心を持ち、利用者のために介護を行うという姿勢は全員にある。
99 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	(自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	意思をあらわにされない方もおり、本意を知ることは困難ではあるが、全ての事柄に満足されているというのは難しいのではないかと考える。
100 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	(自己評価) 1 ほぼ全ての家族等が 2 家族等の2/3くらいが ③ 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	ご家族様から要望、クレームを頂くことが今のところほとんど無い。そのため満足度についても度合いを測ることができないが、少なからず不満に感じている箇所はあるのではないかと考える。

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**  
(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

明るく・楽しく・穏やかにという理念の元、全ての入所者が生きがいを持ち、自分らしさを失うことなく、生き生きとした生活を送っていただくために、各々の趣味趣向に適し、かつ実行が可能な事を見出すこと。興味を引き出すことを前提とした介護の実践に取り組んでいます。